

令和元年度 愛知教育大学 教員養成開発連携センター 先導的実践プログラム部門

「特別支援教育の多面的・総合的支援プロジェクト」シンポジウム

## 高等学校における発達障害等の教育的ニーズ のある生徒への支援の検討

日 時： 2019年11月17日（日） 13:00～16:40 [受付開始/12:30]

場 所： 愛知教育大学 教育未来館・3階・多目的ホール

参加料： 無料

対 象： 小中学校・高校および特別支援学校の教職員，大学の教職員 等

主 催： 国立大学法人愛知教育大学

趣 旨： 発達障害等の特別な教育的ニーズのある生徒への指導・支援の在り方は高等学校においても喫緊の課題となっており，2018年から高等学校にて通級による指導が開始されることとなりました。

文部科学省が毎年実施している特別支援教育体制整備状況調査結果によれば，高等学校においても年々体制整備は進んできています。しかしながら，教員の発達障害生徒の理解，授業での指導・支援，対人関係の支援，進路指導などの課題は十分に進んでいるとは言えない現状があります。

そこで，今回は「高等学校における発達障害等の教育的ニーズのある生徒への支援の検討」をテーマにシンポジウムを開催します。高校生の教育に係わりのある関係者が集まり，生徒の指導内容・方法等を充実させるための可能性と課題について検討する機会を持ちたいと思います。

プログラム：

13:00 【開会式】開会のことば 愛知教育大学 教員養成開発連携センター長 菅沼 教生  
趣旨説明 愛知教育大学 特別支援教育講座 岩田 吉生

13:10 【基調講演】愛知県立高等学校における発達障害等の教育的ニーズのある生徒への支援  
愛知県教育委員会 高等学校教育課 指導主事 加藤 眞太郎 先生

13:40 【話題提供1】読み書きに困難のある高校生の教育支援  
北海道教育大学 旭川校 蔦森 英史 先生

14:20 【話題提供2】自閉症スペクトラム特性をもつ生徒が高校で困難に至るプロセスと対策  
北海道教育大学 札幌校 齋藤 真善 先生

15:00 休憩（10分）

15:10 【話題提供3】発達障害の生徒は高校卒業後にどうなるのか？ 現状と対策  
北海道教育大学 旭川校 萩原 拓 先生

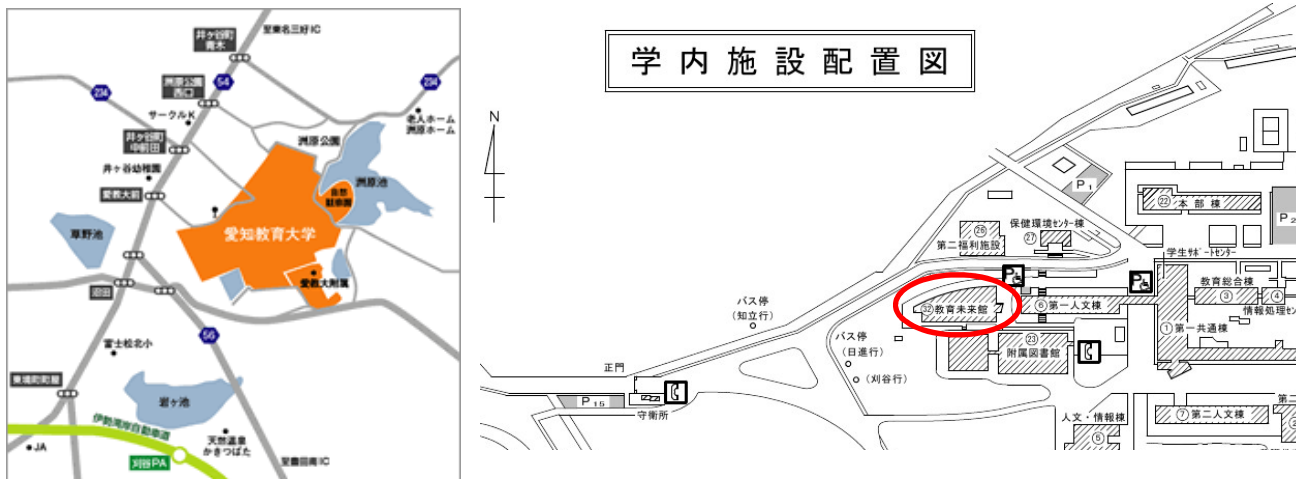
15:50 【シンポジウム】発達障害等の教育的ニーズのある高校生への支援の充実に向けて  
コーディネーター 愛知教育大学 特別支援教育講座 飯塚 一裕

16:30 【閉会式】 閉会のことば

交通のご案内：

(お車でお越しの場合)

- ・正門より大学に入構いただき、駐車場の空きスペースに、お車を駐車してください。



(公共交通機関)

- ・名鉄名古屋本線 知立駅 下車後 名鉄バス東境方面 愛知教育大学前 下車 (所要時間約 20 分) 大学まで 360 円
- ・名鉄豊田線 日進駅 下車後 名鉄バス知立方面 愛知教育大学前 下車 (所要時間約 25 分) 大学まで 450 円
- ・JR 東海道本線 刈谷駅 下車後 名鉄バス富士松駅経由 愛知教育大学前 下車 (所要時間約 30 分) 大学まで 470 円

参加申込方法：愛知教育大学・特別支援教育講座・岩田吉生宛で、e-mail ([viwata@aeucc.aichi-edu.ac.jp](mailto:viwata@aeucc.aichi-edu.ac.jp))にて、2019年11月11日(月)までにお申し込みください。  
メールには、(1)氏名(フリガナ)、(2)所属・役職名をお書きください。  
1通のメールで複数の参加者の申込をしていただいても構いません。

問合せ先：愛知教育大学 学術研究支援課 プロジェクト支援係  
TEL/ 0566-26-2417

この講演会は、HATOプロジェクトの成果を公表するための講演会です。

～教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクトについて～

国立大学法人北海道教育大学(H)、国立大学法人愛知教育大学(A)、国立大学法人東京学芸大学(T)、国立大学法人大阪教育大学(O)の強みを生かしつつ教員養成機能の強化・充実を図ることを目的とした「大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築－教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト－」の活動拠点となり、全国の教員養成系大学・学部と連携・協力を促進し、教員養成の諸課題に積極的に対応することを目的とします。

